

【今日の目標】 温度計を安全に正しく使い，気温や水温を調べている。春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し，表現できる。P9～13

理科

5月12日(水) 課題

春の生き物

ノート めあてをノートにかきましょう

温度計を正しく使い，生き物を観察しよう。

P9 気温や水温のはかり方

ノート ○気温（空気の温度）のはかり方

- のよいところをさがす。
- 地面から， ～  m の高さではかる。
- 温度計に，ちよくせつ  が当たらないようにしてはかる。

おぼえているかな？  
教科書でかくにんしながらノートにすすめよう。

○水温（水の温度）のはかり方

- 水面から  cm ほどの深さにえきだめがくるように温度計を入れる。
- 温度計に，ちよくせつ  が当たらないようにしてはかる。



えきの先が動かなくなったら、えきの先の目もりを真横から読む。

温度計がななめになっているときは、温度計と直角になるようにして、えきの先の目もりを読む。

**注意**  
温度計はこわれやすいので、気をつけて使う。

えきの先と、目の高さを合わせる。 **温度計に対して、目線を直角にして読む。**

これから観察する上でとても大事になってきます。ノートに書いたら声にだして3回読んでみよう。

P10 <生き物のようすと調べるときのポイント>

ノート ○調べる生き物のそばで，気温や水温をはかる。

○虫めがねを使って，くわしく観察する。

○記録カードにくわしく記録する。

- 全体の様子や，部分の様子（葉の数や大きさ，くきののびなど）を観察する。

P12 教科書の写真をみましょう。

春になると，植物が花をさかせたり，動物が活動を始めたりします。

生き物のようすはこれからどのように変わっていくのでしょうか。

予想を立てながら観察していきましょう。